

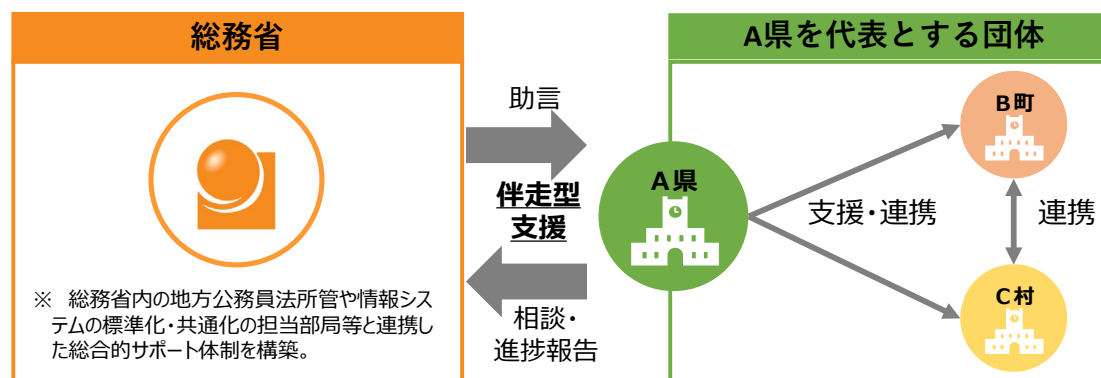
3 デジタル人材の育成・確保

[1] 地域DXの推進に係るデジタル人材の確保・育成

(1) デジタル人材の確保に向けた伴走支援や確保・育成に係る調査研究等

- 都道府県等による広域的なデジタル人材の確保に関する要望が強いが、アドバイザー等による助言や、市区町村業務に従事するような継続的な支援など、ニーズは様々であり、それぞれの地域でのニーズに基づく人材確保の取組を促進するため、都道府県への伴走型支援等を実施。

<伴走支援のスキーム>



【予算】 地域DXの推進に係る地方公共団体のデジタル人材確保・育成支援事業
5年度補正 0.2億円 6年度 0.8億円 (5年度 0.8億円)

3 デジタル人材の育成・確保

[2]サイバー攻撃への自律的な対処能力の向上（人材育成）

(1) ナショナルサイバートレーニングセンターにおける人材育成

・巧妙化・複雑化するサイバー攻撃に対応できるサイバーセキュリティ人材を育成するため、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の「ナショナルサイバートレーニングセンター」において、以下の事業を実施。

- 国の行政機関、地方公共団体、独立行政法人及び重要インフラ事業者等の情報システム担当者等を対象とした実践的サイバー防御演習（CYDER）を実施。
- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催に向けて、万博関連組織の情報システム担当者等を対象として、CYDERを基にした人材育成の演習プログラムである万博向けサイバー防御講習（CIDLE）を実施。
- 25歳以下の若手ICT人材を対象として、新たなセキュリティ対処技術を生み出さうる最先端のセキュリティ人材であるセキュリティイノベーターを育成（SecHack365）。

CYDER
Cyber Defense Exercise with Recurrence

演習実施模様
専門の指導員による補助

擬似攻撃者

機材・データを使用して
本番同様の作業を実施

実際の大規模LANを模した環境を、
受講チームごとに専用環境として構築

CIDLE
Cyber Incident Defense Learning for EXPO

EXPO 2025

<万博のシステム>
入場券販売システム
万博関連ポータル
ICT基幹システム 等

SecHack365

最先端技術の体験
海外派遣
会場の一環の研究者・技術者との交流
ハッカソン
修了生コミュニティ
遠隔開発実習
発想力&研究開発力の向上

【予算】 ナショナルサイバートレーニングセンターの強化 17.4億円（5年度 12.7億円）
実践的サイバーセキュリティ人材育成の拡充 5年度補正 12.5 億円の内数

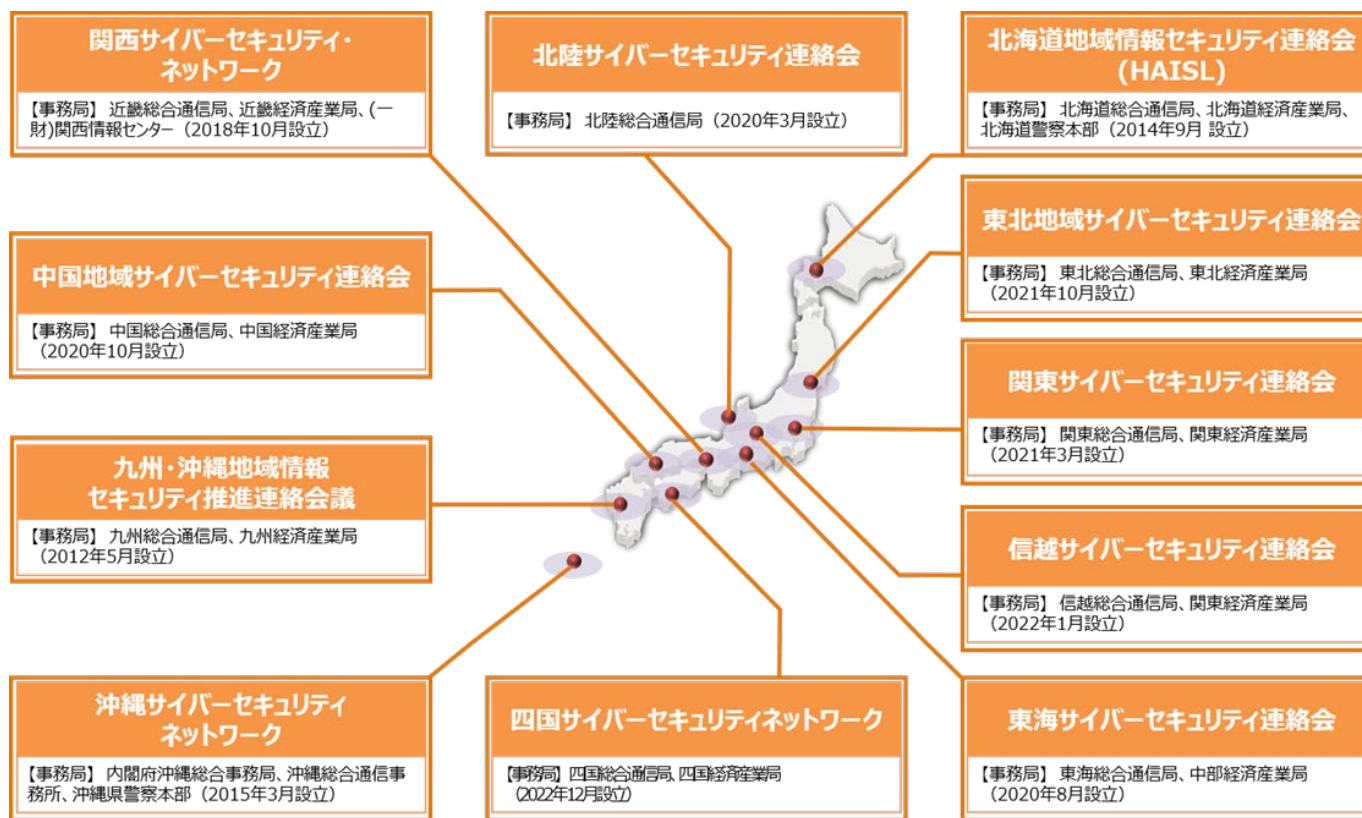
3 デジタル人材の育成・確保

[2]サイバー攻撃への自律的な対処能力の向上（人材育成）

(2) 地域セキュリティコミュニティの強化支援

- ・大都市圏を除く各地域ではセキュリティに関する人材育成、普及啓発等の機会が十分でないことから、産学官連携による地域に根付いたセキュリティコミュニティ（地域SECURITY（セキュリティ））の形成のため、セミナーやインシデント演習等の開催を支援する。

全国のセキュリティコミュニティ



【予算】地域セキュリティコミュニティ強化支援事業 0.6億円（5年度 0.4億円）

3 デジタル人材の育成・確保

[3]統計人材の確保・育成

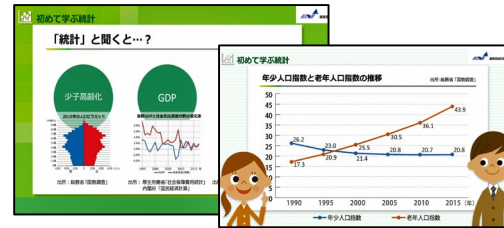
(1) 統計人材の確保・育成

①ICTを活用した公的分野の統計人材の育成

- オンライン研修（eラーニング形式）を活用した研修プログラムの充実を図り、幅広く受講可能な仕組みを整備。
- 双方向の演習を中心とした集合研修及びライブ配信と組み合わせることにより、効果的な統計研修を提供。

公務員向け

○いつでも、どこでも、何度でも受講可能な研修の提供
(eラーニング形式のオンライン研修)



○演習を中心とした双方向かつ実践的な研修の提供



②データサイエンス関連事業

- データサイエンス・オンライン講座の提供・充実を通じて、統計リテラシーを有した“データサイエンス力”の高い人材の育成や、統計調査に対する協力意識の醸成を図る。

一般向け

データサイエンス・オンライン講座



<入門編>
統計学の基礎や統計データ分析の基本的な知識を学ぶ

<演習編>
ビジネス上での分析事例を中心に実務的なデータ分析の手法を学ぶ

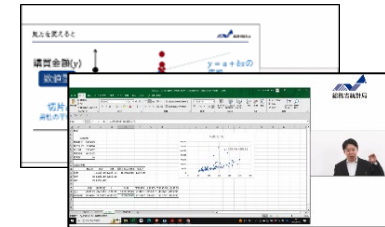
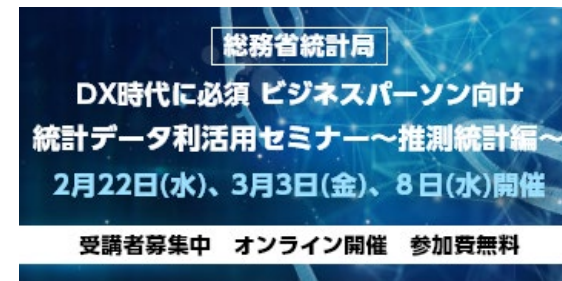
<活用編>
統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得

③統計リテラシー向上セミナーの実施

- 企業におけるデータサイエンススキルの裾野拡大及び政府統計データへの理解増進を図り、統計リテラシーの向上を促し、企業における統計データの有効活用を推進。

民間企業向け

DX時代に必須 ビジネスパーソン向け統計データ利活用セミナー～推測統計編～（オンライン）



○セミナー動画・教材を公開（いつでも誰でも視聴が可能）

3 デジタル人材の育成・確保

[3]統計人材の確保・育成

(2) 地方統計機構における地域データ分析・利活用の推進

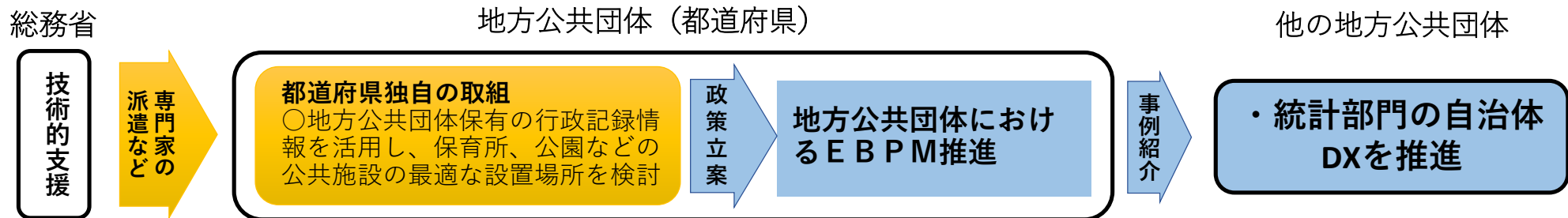
①統計データアナライズセミナーの実施

- 都道府県の統計専任職員の地域分析実務の充実・強化を図るため、統計データアナライズに関するセミナー等を実施。

②地方統計機構（※）支援事業

- 地域別統計の作成など統計情報の活用を中心とした技術的支援に加えて、専門家を国から派遣することにより、地方統計機構のデータ分析・利活用を推進。

※地方公共団体の統計主管部局の総称。



【予算】 統計データアナライズセミナーの実施 0.03億円（5年度 0.04億円）
地方統計機構支援事業 0.04億円（5年度 0.06億円）